

“世界の難民問題と日本の難民政策”

連続セミナー第3弾は、世界的な課題となってきた難民問題について考えます。

いま、中東地域やアフリカからの難民の流れは、難民を最も受け入れているトルコやヨルダン、レバノンといった周辺国へ大きなインパクトを与えていますし、次いでこれまで多くの難民や移民を受け入れてきた欧州諸国にも大きな衝撃を与え、排外的な言論も現れています。他方、日本は、長らく難民への門戸をほとんど開かない状況であり、そうした姿勢には疑問が投げかけられてきました。

今回は、難民や難民申請者から多くの相談を受け、その一人ひとりに支援を行ってきている難民支援協会の代表理事である石川えりさんから、現場感覚を踏まえた難民問題の捉え方を伺うとともに、日本の難民政策の課題について鋭く切り込んでいただきます。

皆さまのご参加をお待ちしています。

- ・ 日 時：7月19日(火) 18:30~20:30 (18:15 受付開始)
- ・ 場 所：中央大学駿河台記念館 570 教室 (千代田区神田駿河台3-1 1-5)
- ・ 講 師：石川 えり 氏 (認定NPO法人 難民支援協会 代表理事)

* 参加費：無料 * 事前申込み不要

<アクセス>

【JR】御茶ノ水駅(聖橋口) 徒歩3分

【地下鉄・丸の内線】御茶ノ水駅 徒歩6分

【地下鉄・千代田線】新御茶ノ水駅 徒歩3分

【主催】

公益社団法人自由人権協会 (JCLU)

〒105-0001 東京都港区愛宕 1-6-7

愛宕山弁護士ビル 306

TEL: 03-3437-5466 URL: www.jclu.org



<外国人問題・連続セミナー>

ニューカマーと言われる外国人が日本に多く訪れる契機となったプラザ合意から30年、現在、217万人もの外国人が在留しています。一言で「外国人」と言っても、国籍が多様であるばかりでなく、その在留状況にも大きな違いが見られます。

この連続セミナーでは、様々な側面を持つ外国人問題について、各分野の代表的な論客を招き、日本における外国人の全体像を、分かりやすく、かつ奥深く学べる機会を提供したいと考えています。

今後は、「介護分野の外国人労働者」「技能実習生」等について、隔月ペースでセミナーを開催していきたいと思っています。